

2 計画主体ごとに定める指標（全体指標）

目標	事業種目 (メニュー)	全体指標	指標設定の考え方 (目標との関連性)	現状値			目標値			備考
				数値	単位	年度 (西暦)	数値	単位	年度 (西暦)	
林業・木材産業の生産基盤強化										
山地防災情報の周知	山地防災情報伝達の総合的な推進									
森林資源の保護	森林資源保護の推進									
	森林環境保全の推進									
林業の多様な担い手の育成	労働安全の確保	素材生産量	素材生産量のほか、林業担い手育成のためには、労働災害防止等の対策を進める必要があるため、労働災害発生件数の減少を指標として設定する。	334,838	m <sup>3</sup>	R6 (2024)	350,000	m <sup>3</sup>	R7 (2025)	
		労働災害発生件数		40.3	件	R6 (2024)	32	件	R7 (2025)	
林業経営体の育成	林業経営体育成対策 (林業機械リース支援)									
再造林の低コスト化の促進	コンテナ苗生産基盤施設等整備									

(注)

- 1 目標単位での事業計画がある場合は、該当する全体指標について記載すること。
- 2 メニュー及び全体指標については、別表4に定める事項を記載すること。ただし、目標「林業の多様な担い手の育成」における全体指標の一部及び「森林資源の保護」における全体指標については、別表4を踏まえ、地域の実情に応じたものを設定すること。また、全体指標ごとに定める（）書き内の増加量、増加率等については備考欄に記載のこと。

\* 行については、適宜加除のこと。